

新品種候補グラジオラス「プリンセスサマーイエロー」の育成

[要約] 黄色にオレンジ色の覆輪の花色で、上向き咲きの草姿であるグラジオラス「プリンセスサマーイエロー」を育成した。

茨城県農業総合センター生物工学研究所・果樹花育種研究室

1. 背景・ねらい

本県のグラジオラスは球根生産、切花生産でそれぞれ全国 1, 2 位を占める重要な花き品目である。近年の産地間競争の激化や輸入球根自由化等に対応するため、本県オリジナル品種育成による産地の活性化を図る。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「ショウバウンド」×「サンレイ」の組合せで得られた34系統の中から、有望系統「プリンセスサマーイエロー」を育成した。
- 2) 黄色にオレンジ色の覆輪の花色で上向き咲きの特徴ある草姿をもつ、早生の中輪系である（図1）。
- 3) 現地適応性試験の結果、生育状況、病虫害発生状況、薬害の発生状況および切花品質は共に良好で、担当した生産者の総合評価は極めて良好だった（表1）。
- 4) 市場性評価の結果、フォーメーションに希少価値があるとして担当者の総合評価は極めて良好だった（表2）。
- 5) 特性調査の結果、「プリンセスサマーイエロー」は対照品種に対し区別性があると認められ、また調査データには年次ごとの永続性が認められた（表3）。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 平成19年3月15日に品種登録された（登録番号 第15211号）。
- 2) 商品性のある品種でも品質の劣る品物が大量に出荷されると評価は落ちるので、優れた品種をながもちさせる販売戦略が必要である。

4. 具体的データ



図1 グラジオラス「プリンセスサマーイエロー」の草姿

表1 「プリンセスサマーイエロー」の現地適応性試験結果（平成13年）

調査項目	内容		
栽培管理	定植 平成13年3月21日（マルチ栽培） 開花期 6月21日		
生育状況	良	普通	不良
病虫害発生状況	良	普通	不良
切花品質	良	普通	不良
総合評価	極めて良好		

表2 「プリンセスサマーイエロー」の市場性評価（平成13年）

調査項目	内容
商品性	希少価値がある，商品として売れる
本系統の良い点	フォーメーションがよい
本系統の悪い点	特になし
総合評価	極めて良好

表3 「プリンセスサマーイエロー」の特性調査結果（Mean±SD）

調査項目	プリンセスサマーイエロー	天元	光風
草姿	II型	II型	II型
草丈(cm)	127.7±6.0	113.7±3.8	116.8±10.5
花の大きさ(cm)	7.3±0.5	9.2±0.8	7.1±0.4
同時開花数	4.2±0.8	5.2±0.9	5.4±0.5
花被の配列	逆三角形	混合	混合
花の向き	上向き	上向き	ななめ
花被色	浅黄+明橙	明橙赤	明緑黄+浅橙
花底部の色	浅黄緑	黄白	明緑黄
柱頭の色	白	赤	白
葯の色	紫	白	白
定植日	4月18日	4月18日	4月18日
開花日	7月6日	7月6日	7月6日

（平成13年のデータより抜粋）